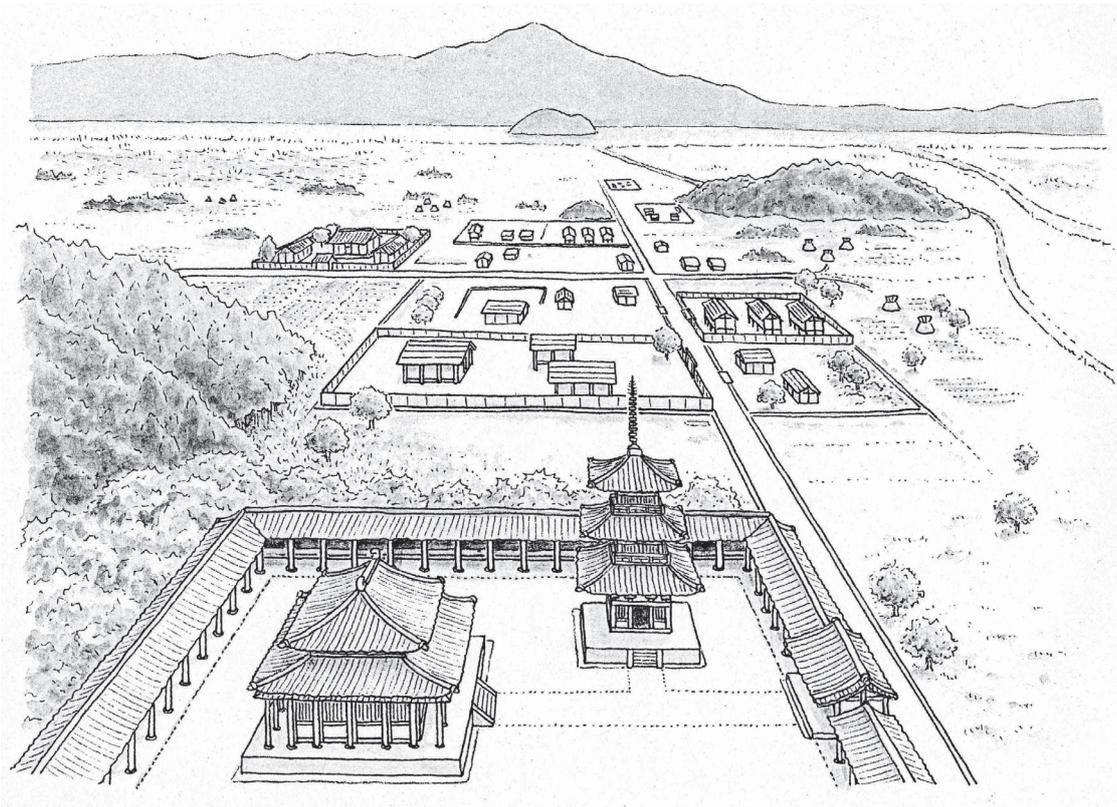


# 太陽信仰の聖地に造られた 日置前の遺跡



近江の最高峰で聖なる山「伊吹山」山頂から真西を望むと奥琵琶湖に浮かぶ聖なる島「竹生島」が、その延長上には5世紀代に築造された県下最大級の大型円墳「王塚古墳」、奈良時代の都市遺跡「日置前遺跡」、そして日本で2例目の仏教彩色壁画が出土した「日置前廃寺」が真東西に一直線につながって存在しています。

春分・秋分の日には太陽は真東から昇り真西に沈みます。この時期に日置前の遺跡群に立つと伊吹山頂から太陽が昇り、夕方には「日を置く」と書く当地で太陽が沈みます。太陽の昇る山が聖山という意識、日奉信仰・迎日信仰は古墳時代にはかなり浸透していたと考えられており、日置前が太陽を招く（まねきよせる）太陽信仰の聖地ではなかったかと考えられます。

王塚古墳などの大型の古墳に葬ら

**編集者のつぶやき**

▼今回の表紙は、滋賀レイクスターズによるバスケット授業のようす。練習の最後には、ジョシュ選手の華麗なダンクシュートで児童らの拍手と歓声が沸き起こりました。▼特集は、獣害対策についてです。獣害は、全国的に問題になっていて新聞やテレビで目撃する機会も増えたように思います。人馴れしてきた動物は、住宅地に下りてきて事故を起こすこともあり、被害は農作物だけにとどまりません。地域みんなで対策しましょう。(広報担当S)

れている首長（集団の王）は、その集団の最高神でありました。この首長は、太陽神と穀霊神の両神性をかねあわせており、毎年太陽の力が最も弱まり、穀物（主に粳）が越冬する冬至には、この神の生命もまた衰弱すると考えられ、盛大に生命の復活儀礼が行われました。しかし、本当に首長が死んでしまった時には、首長の一生一代一度きりの首長霊の継承が古墳の上で行われるのです。この儀式は今日でいう大嘗祭であり、古墳とは死した首長と新しい首長がその神霊を継承する儀式の場だったのです。太陽霊を継ぐので、今でも棺のことをひつぎ日継と呼んでいます。王塚古墳はこの儀式に最もふさわしい場所に築造された古墳であったといえます。

(文化財課)

拡大版  
タフ  
トビックス  
子育て  
安心安全  
消費生活  
省エネ  
みんな  
575  
国保年金  
国保年金  
市長の手帳  
健康生活  
元気生活  
教育委員会  
びょういん  
たより  
暮らしの  
情報  
図書館  
窓口たより  
歴史散歩